



# 大間町 まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略 概要版

平成28年3月 大間町

## 人口ビジョンとは・・・

大間町の、人口減少に対する中長期展望で、人口などの動向分析や、町民意識を踏まえて、2040年を視野に入れて策定しています。

## 総合戦略とは・・・

大間町の「まち・ひと・しごとの創生」に向けた目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたもので、国、県の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案し、現在の総合計画に即した施策の基本的方向、具体的な施策を設定しています。

# 人口ビジョン

## 現状・特性

### (人口等分析から)

- 大規模な施設（大間原子力発電所）建設を考慮すると、当町では人口は減少傾向で、今後は、高齢化少子化が一層進展すると考えられます。
- 当町の労働力人口は減少傾向にあり、町の基幹産業である第1次産業従事者の減少、高齢化が顕著です。
- 当町では、若年層の転出に見合った他世代の転入が少ないため、全体として転出超過の状況にあります。
- 当町の出生数は減少傾向にあり、出生率も比較的高い状況にあるものの減少傾向にあります。
- 当町の死亡数は増加傾向にあり、平均寿命は伸びているものの現在も全国平均を下回っています。
- 人口移動がより広域化する中、当町では、圏域内で日常生活（就業、買い物、医療）での役割を担っています。
- 東日本大震災の影響により減少した観光入込客数は、震災前の状況まで回復しています。

### (町民アンケート調査結果から)

- 人口減少対策には、雇用の場の確保・収入の安定化が求められており、特に基幹産業である第1次産業に関連した産業の活性化が必要と考えられています。
- 独身男女の約9割が結婚意向を有しており、9割以上が子どもを持ちたいと考えているものの、就業状況、収入・資金、子育て支援の不足を理由として実現されていないケースがあります。
- 当町への愛着度が高い人が若年層の約8割を占め、愛着度の高い人は当町への居留意識が高くなっています。また、当町への愛着度や自然の豊かさが満足度を高め、生活の利便性が満足度を下げる要因となっています。

## 対応すべき課題

- 近年の人口増減について注意することが必要です。
- 人口減少問題に対応するための人口ビジョン、総合戦略の策定が必要です。
- 雇用の場の創出・安定した収入の確保のために地域特性に立脚した産業振興が必要です。
- 町内出身者のUターンを促進することが必要であり、そのために町への愛着度を高める必要があります。
- 下北圏の維持・発展と、本州と北海道の結節点という地理的優位性を活かすことが必要です。
- 結婚・出産・子育ての切れ目ない支援が必要です。
- 生産年齢人口確保のために生活しやすい住環境の充実が必要です。
- 健康寿命延伸のための健康づくりの取り組みが必要です。

## 目標達成に必要な条件

- (1) **合計特殊出生率**は、国の長期ビジョン（平成26年12月27日閣議決定）・県長期ビジョンと同様の平成52(2040)年までに**人口置換水準(2.07)**まで上昇させます。
- (2) **平均寿命**は、国・県の長期ビジョンと同様の平成52年(2040)までに**男性82.82歳、女性89.55歳**まで延ばします。
- (3) **社会増減**は**均衡**するよう、転出を抑制し、転入を促進します。

# 人口ビジョン

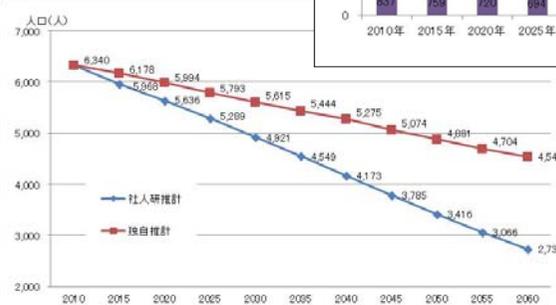
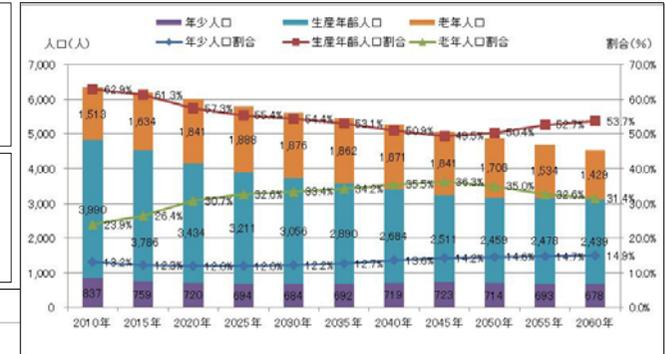
## 目指すべき将来の方向

- 基本方向1 若い世代が安心して戻ってこれる地域に根付いた産業を活かした雇用の場づくり**
- ・当町では、新たな産業を町に誘致するのではなく、すでにブランドとして確立しているマグロを活用し、本州最北端という立地特性を活用して、基幹産業である漁業を中心とする第1次産業の活性化を図るほか、既存の産業から派生し、新たな雇用や収入を生み出す産業の誘導を進めます。
- 基本方向2 町への愛着心を育み、より多くの人にとって知ってもらうための情報の発信**
- ・町への居住意向が高い人は、愛着度も高くなっています。一方で若年層が就職や進学のため転出する状況にあり、その後、Uターンが人生のプランの選択肢の一つとなるよう中高校生の町への愛着心を育むよう取り組みます。
  - ・観光産業の振興による交流人口の増加を移住や季節居住に結び付けられるよう、より多くの人に町の魅力を知ってもらうための情報を発信します。
- 基本方向3 結婚・出産・子育ての支援策の充実と暮らしやすい住環境の整備**
- ・町内に居住する若い人が、安心して結婚・出産・子育てができる環境を整備・充実させるよう取り組みます。また、当町における多様な住まい方、働き方を確保するため、町民の評価の高い地域コミュニティと豊かな自然を保全しながら生活しやすい住環境を充実させるよう取り組みます。
- 基本方向4 誰もが安心して楽しく老いを迎えられる健康長寿の環境づくり**
- ・すべての高齢者が、元気で健やかに暮らすことは、町内の消費活動が確保され、定年退職のない第1次産業の維持、ひいては人口の自然減の減少につながります。高齢者の健康に対する意識を醸成し、健康づくりに参画することで、病気に負けない健康なまちづくりに取り組みます。

## 大間町が目指す目標人口

国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計結果を用いて、当町における目指すべき将来の方向を踏まえた独自条件を達成した場合の将来目標人口を設定します。

**目標人口**  
**2040年(平成52年)**  
**5,275人**  
**(2010年時点の83.2%)**



- ・年少人口は、一度減少しますが合計特殊出生率の上昇により、その後は横ばいで推移します。構成比は、平成42(2030)以降、緩やかに上昇していきます。
- ・生産年齢人口は、緩やかに減少しますが、平成42(2030)以降一定を保ち、構成比は上昇します。
- ・老年人口は、平成52年(2040)まで増加しますが、それ以降減少し、構成比も低下します。

## II 総合戦略

### 総合戦略の位置付け・概要など

大間町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）は、まち・ひと・しごと創生法に基づき、大間町人口ビジョン（以下「人口ビジョン」という。）を踏まえ、大間町の「まち・ひと・しごとの創生」に向けた目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。この総合戦略は、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案し、第5次大間町総合計画をベースに幅広い方々の協力・参画を得て策定されました。（ア）

### 基本目標・目標指標

#### 基本目標1：大間らしい第1次産業を守り、育て、強化し、新たな雇用を促進する

- 当町では、漁業が基幹産業となっていますが、関連する第2次、第3次産業である加工・製造・流通・販売の連携を強化することにより、付加価値を高め、漁業収入の向上を図るほか、関連産業への新たな雇用の促進につなげます。
- 漁業を始めとする第1次産業の維持・充実を図るため、生産・供給体制の強化を推進します。
- 付加価値を高めるための商品開発、新たな販路拡大の動きを通じて、新たな事業展開に結び付けます。また、これら事業に関連した起業を支援します。

目標指標	基準値	目標値（平成31年）	備考
従業者数	825人（H24）	908人	基準の10%増加（過去の推移から）
1人当たり町民所得	1,925千円（H24）	1,925千円	基準を維持（過去の推移から）



オコッペいもっこ



海藻等の加工製品

#### 基本目標2：大間ならではの魅力を高め、人を集め、人を呼び戻す

- 当町の観光資源を積極的に発信する体制構築及び観光関連施設の充実を図ります。
- 当町の魅力を発信することによる交流人口増加を定住人口へ繋げるため新規居住希望者への情報提供を検討します。
- 当町の子どもたちの町への愛着を育む教育を推進します。「下北ジオパーク構想」の活動等を郷土を知る教育の一環として活用し、活力ある地域のための人材を育て、若者や女性、シニア世代など多様な人材が地域の魅力を感じることができる環境づくりを推進します。

目標指標	基準値	目標値（平成31年）	備考
観光入込客数	206千人（H26）	227千人	基準の10%増加
転入数	174人（H26）	183人	転出入を25年で均衡
転出数	292人（H26）	277人	転出入を25年で均衡
町に対する愛着度	79.8%（H27）	80%	基準と同程度

## II 総合戦略

総合戦略の戦略期間は、大間町人口ビジョンが示す人口の将来展望を踏まえ、平成27年度（2015年度）を初年度とする平成31年度（2019年度）までの今後5か年とし、国の総合戦略が示す政策4分野ごとの基本目標に人口ビジョンを踏まえ、当町として実現すべき成果（アウトカム）を重視した数値目標を設定しています。また、基本目標の実現に向けて、講ずべき施策の基本方向及び具体的な取組内容を記載し、施策の効果を客観的に検証するため、重要業績評価指標（KPI）を設定しています。

	具体的施策	取組内容（○は特に重点的に取り組む事項）	
基本目標1	a. 第1次産業の6次産業への展開（効果的なPR等によるブランド維持と他の産品への波及）	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「まぐろ町会議」の取り組み推進</li> <li>◎ふるさと納税の返礼品による特産品のPR</li> <li>◎フードアルチザンによる「オコッペいもっこ」の販売・商品開発</li> <li>・ツルアラメなど海藻類の成分調査研究、商品開発</li> <li>・「大間牛（陸マグロ）」のブランド化及び地産地消の推進</li> </ul>	
	【重要業績評価指標（KPI）】 ふるさと納税の件数（97件→200件） / オコッペいもっこ出荷数（5.9t→6.2t） ツルアラメ出荷量（15.8t→16.6t）		
	b. 第1次産業の活性化のための環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁港、漁場及び漁業関連施設の整備</li> <li>・磯根資源調査及び資源回復事業（ナマコ種苗の放流事業/アワビ種苗の放流事業、資源管理/ウニ密度管理事業/昆布等種糸沖出し事業）</li> <li>・供給体制の強化のための繁殖育成センター設備の充実（畜産業）</li> </ul>	
	【重要業績評価指標（KPI）】 大間・奥戸漁協正組員数（572人→572人） / コンブ種糸数（300m→300m） 地産地消出荷頭数（5頭→8頭）		
	c. 企業誘致・創業支援・担い手支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「FAAVO（ファアボ）しもきた」によるクラウドファンディング事業</li> <li>・小規模事業者経営改善資金への利子補給</li> <li>・農業担い手育成のための研修会の実施</li> </ul>	
【重要業績評価指標（KPI）】 利子補給件数（18件→18件） / クラウドファンディング申込件数（5件/年間 新規）			
基本目標2	a. 大間の魅力を活かした観光振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎まつり活性化のための支援事業</li> <li>◎地域おこし協力隊の活用</li> <li>◎Wi-Fiステーション整備</li> <li>・観光情報の多言語化事業</li> <li>・大間崎レストハウスの改築</li> </ul>	
	【重要業績評価指標（KPI）】 観光入込客数（206千人→227千人） / 地域おこし協力隊員数（1人 新規）		
	b. 郷土への愛着の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育への地域文化の取り込み</li> <li>・ジオガイド、観光ガイドの育成（養成講座の開催）</li> </ul>	
	【重要業績評価指標（KPI）】 郷土教育の実施回数（151時間→151時間以上） / ジオガイド員数（5人 新規）		
c. 移住・定住支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家バンク体制の構築検討</li> <li>・お試し移住施設の整備検討</li> <li>・町営住宅の建替え</li> </ul>		
【重要業績評価指標（KPI）】 空き家バンク開設（開設）			

## II 総合戦略

### 基本目標・目標指標

#### 基本目標3：大間で結婚し、子どもを産み育てたい若い人を応援する

- 結婚・妊娠・出産・子育ての各段階において、家庭と仕事が両立できるよう保育環境の充実等支援体制の充実を図るとともに、それぞれの段階に対応した少子化対策を、地域全体で総合的に推進します。
- 妊娠・出産・子育てに係る身体的、精神的、経済的負担が軽減されるよう支援の充実を図ります。
- 育児休業の取得促進や多様な働き方の普及等により、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現を図ります。

目標指標	基準値	目標値（平成31年）	備考
出生数	43人（H22-26の平均）	43人	現状維持



元気いっぱい運動会



かもまーと記念撮影

#### 基本目標4：高齢者をはじめ誰もが安全で、安心して住み続けられる大間をつくる

- 高齢者をはじめ誰もが安全で、安心して生活できる体制を地域ぐるみで構築するほか、社会基盤の整備を推進します。
- 大雨や地震などの自然災害や大間原子力発電所の本格稼働に伴う原子力災害に備え、日ごろから防災意識の向上・防災体制の充実を図ります。
- 圏域内において、地域特性に応じて機能を補完し合うことで持続可能な圏域づくりを目指します。

目標指標	基準値	目標値（平成31年）	備考
平均寿命	男性 77.8歳（H22） 女性 84.4歳（H22）	78.6歳 85.3歳	2040年男性82.8歳、 女性89.6歳を目指して
町に対する満足度	49.5%（H27）	70%	基準から20%増加



健康ウォーキング

## II 総合戦略

### 具体的施策

### 取組内容(○は特に重点的に取り組む事項)

基本目標3	a. 安心して産み育てられる支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎中学生までの子どもの医療費無料化</li> <li>◎保育料軽減措置の実施</li> <li>◎放課後子ども教室の開催</li> <li>・結婚に対する支援制度の検討</li> </ul>
	【重要業績評価指標（KPI）】 乳幼児健診受診率（91.4%→95%） / 放課後子ども教室開催回数（84回→84回）	
	b. 働きながら育てられる保育サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児休暇取得促進のための相談窓口設置</li> <li>・臨時保育士への人件費補助</li> <li>・子育て世帯の町外への通勤者に対する支援</li> </ul>
	【重要業績評価指標（KPI）】 臨時保育士数（4人→4人）	
基本目標4	c. 地域をあげた子育て支援体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援センターの拡充</li> <li>・読み聞かせ活動の実施</li> </ul>
	【重要業績評価指標（KPI）】 読み聞かせ活動実施回数（6回→6回） / 地域子育て支援センター登録者数（1人→1人以上）	
	a. 誰もが健康やかに暮らせるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎健康ウォーキングの実施</li> <li>◎各学校での出前講座の開催</li> <li>◎ミニ健康まつりの開催</li> <li>・運動講座の開催</li> <li>・健康増進のための情報提供体制の充実</li> <li>・介護予防事業の実施</li> </ul>
【重要業績評価指標（KPI）】 健康ウォーキング参加人数（80人→90人） / 出前講座の実施回数（8回→8回） ミニ健康まつり参加人数（のべ243人→のべ250人）		
基本目標4	b. 安全・安心に暮らせる体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大間町防災訓練の実施</li> <li>・消防、防災設備の整備促進</li> <li>・原子力防災資機材の配備</li> <li>・町道改良、橋りょう補修事業</li> </ul>
	【重要業績評価指標（KPI）】 防災訓練（津波）参加者数（805人→1,025人）	
基本目標4	c. 広域連携によるまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下北ジオパークツアーパッケージの推進</li> <li>・医師派遣</li> <li>・医療連携体制の強化</li> </ul>
	【重要業績評価指標（KPI）】 下北ジオパークツアー開催数（5件 新規）	

## II 総合戦略

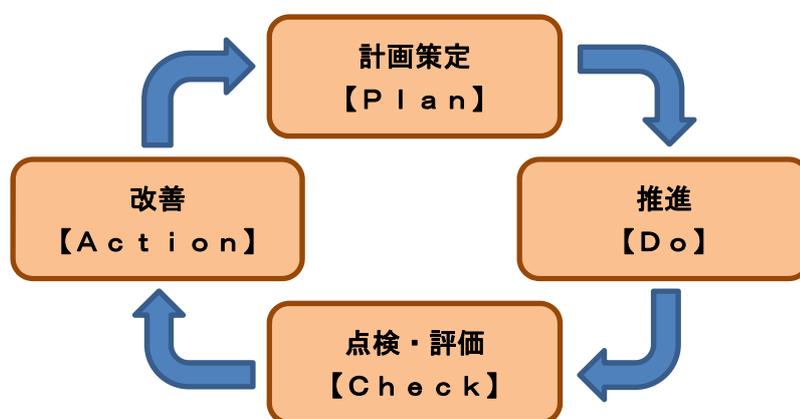
### 検証の枠組み

実施した施策の効果については、客観的に検証するため、重要業績評価指標（KPI）を設定し、町民をはじめ学識経験者や様々な分野（産官学金労等）の方々に構成される大間町まち・ひと・しごと創生推進会議において定期的に検証し、検証結果を施策に反映させるため、計画策定（Plan）、推進（Do）、点検・評価（Check）、改善（Action）、の一連の流れによるPDCAサイクルを構築し、必要に応じて総合戦略の改定を行い、進捗を管理します。

また、取り組み推進に当っては、国の財政的支援制度や「地方創生コンシェルジュ」制度などの人的支援制度を含め、国の支援制度を積極的に活用することとします。

重要業績評価指標（KPI）とは、Key Performance Indicator の略称で、事業ごとの進捗状況を検証するために設定する指標のことです。

#### PDCAサイクルの概念



～人口ビジョン・総合戦略に関するお問い合わせは以下の連絡先をお願いいたします。～

---

大間町 企画経営課

連絡先

郵便番号 : 039-4601

住所 : 青森県下北郡大間町大字大間字大間104番地

電話番号 : 0175-37-2117

FAX 番号 : 0175-37-4744

ホームページ <http://www.town.ooma.lg.jp>

---